

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.129

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	幼児教育支援センター事業	担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	発達障害者支援法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと				終期
(小項目)		学校教育				
施策	2	幼稚園教育の充実				
基本事業	1	教育活動の充実				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	市内就学前の幼児(3歳~6歳)のうち、特別な支援を必要とする幼児や気がかりな幼児は増加傾向にあるため、子育てに悩み、不安を持った保護者が安心して子育てができる環境づくりを目指す。		事業内容(R1)	幼児教育等の専門家による教育相談の実施 対象者:3歳~就学前の幼児の保護者 相談人数24人 実施時間:保護者の利用しやすい時間帯・曜日について、実施・検討する。				
実施方針	子育てに悩む保護者が気軽に相談できるよう、定期的に「教育相談」の機会を設ける。			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	教育相談実施回数	8	8	8	8	8	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	相談利用者数		24	24	24	24	24	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	教育相談を年8回実施	教育相談を年8回実施	教育相談を年8回実施	継続実施	継続実施
事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	120	0	120	120	120

事務事業名	幼児教育支援センター事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		近年、支援を必要とする幼児や気がかりな幼児が増加傾向にあることや、家庭での保育の低下や子育てに悩んでいる保護者が増え、幼稚園・私立幼稚園・保育所等からの教育相談の申込者も多いことから保護者が気軽に相談できるよう教育相談を実施した。 相談者の利用しやすい日時を検討し、土曜日にも実施した。(相談人数は変更なし) ○幼児教育等の専門家による教育相談の実施 対象者:3歳~就学前の幼児の保護者 相談人数24人 実施時間:17時30分~19時30分 場所:市教委					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	教育相談実施回数	8	8	8	8	8	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	相談利用者数		24	24	24	24	24	人
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移(円)	年度		令和元年度決算					
			平成30年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		120,000	0	120,000	0	120,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		120,000	0	120,000	0	120,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	相談利用者数		成果指標に対する所見	不安を持つ保護者や、幼稚園・私立幼稚園・保育所等からの教育相談の申込者も多く、計画した利用者数を達成したため。		
	目標	24	人				
	実績	24	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	子どもの現状を十分に把握できていない保護者もいることから、専門家による教育相談をそのきっかけづくりの一つとして継続して実施するとともに、相談員とも調整し、保護者の利用しやすい時間帯や曜日において実施する。 また、関係課においても連携しながら、保護者にとって安心して子育てができる環境づくりを推進していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	支援を必要とする幼児や気がかりな幼児が増加傾向にあることや、家庭での保育の低下や子育てに悩んでいる保護者も多いことから、引き続き教育相談を実施する。			
	令和3年度	継続実施。			